



市長との約束 2023

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

鳴子総合支所長

伊藤 正幸

約束内容	新型コロナウイルス感染症終息後の観光振興
達成目標	新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けた鳴子温泉郷の観光入込客数の増加を図ります。
達成度	A 達成目標を上回る ★★★★★☆
達成状況	観光入込者数（正式公表前数値）について、令和4年度1,154千人に対して令和5年度1,206千人となり、4.5パーセント増となった。また、こけし祭りにおける入込状況では、令和4年度（第67回）37千人に対して、令和5年度（第68回）約45千人となり、17.8パーセント増となったので、目標に掲げた観光入込客数の増は達成できた。（※観光協会で把握しているインバウンドの入込状況については、令和4年10月の入国制限緩和により、令和4年度199人に対して、令和5年度1,040人で、大幅な増となった。）
約束内容	地域イベントを通じた賑わい創出
達成目標	全国の伝統こけしに関する最大の祭典であり、大崎市におけるイベントの中でも、主要なイベントと位置づけされる「全国こけし祭り」について、4年ぶりに通常開催し、地域全体の賑わい創出を目指します。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★☆
達成状況	令和4年度まで、コロナ禍により縮小開催としていたが、本年度は本来のフェスティバルパレードを実施し、ほぼ通常開催とすることができた。祭り期間中の入込者数については約45千人となっており、コロナ禍前の令和元年度52千人の86.5パーセントまで回復した。令和7年度の70回記念に向けて、さらに魅力を高めるための検討を現時点から進めていくこととする。（※令和7年度は、日本こけし館開館70周年、陸羽東線鳴子温泉駅開業110周年にあたるので、それらとコラボした記念事業を展開する予定。）

約束内容	市民活動拠点施設の整備
達成目標	鬼首温泉地域の活性化を図るための基本となる「（仮称）鬼首村計画（案）」を具体的に進めるため、推進母体を立ち上げ、運営主体や施設規模等の検討を行います。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	本年度の会議は、これまで7回開催した。また、総合支所内に課を跨いだ連携体制により、地域振興拠点としての役割について共通認識を持って進めることとした。地域とは「運営主体等」の検討をしているところであるが、会議メンバーから、「運営主体の構成員として参画する際の知識がないので、他地域の事例等を参考にしたい。」との意見が出されていた。他市町村での先進事例集等の資料により事例を学ぶとともに、3月13日には栗原市の「（一社）はなやまネットワーク」を視察したので、来年度に繋げながら引き続き検討することとする。

約束内容	旧鳴子総合支所解体後の跡地利活用
達成目標	旧鳴子総合支所解体後の跡地の利活用について、鳴子温泉駅前の湯めぐり広場、足湯等、点在する施設を周遊する際の新たなスポットとしての整備を目指します。
達成度	B 概ね目標どおり達成 ★★★★★
達成状況	解体に係る設計業務委託料について6月補正予算に要求し、議決・予算計上された。8月の1回目の入札では不調、2回目の10月の入札において落札・契約し業務を進めているが、追加のボーリング調査が必要となったことから、3月補正予算において増額し、変更契約のうえ年度末の業務完了の予定である。解体工事費と跡地整備設計については令和6年度6月補正に計上予定である。なお、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」については、第4回公募（4月22日期限）の条件を踏まえ伴走支援者と情報共有のうえ確認中である。